

都城市民会館 再生活用報告

旧市民会館を未来へつなぐ

都城市民会館は平成19年に閉館され、平成21年より20年間、南九州大学に無償貸与されましたが、諸般の事情で未利用な状況が続き、南九州大学が都城市に市民会館を返還することになりました。そして、市民アンケートと民間提案の受付が始まりました。試算によると再生に40億円という膨大な費用が必要との報告がされましたが、一般社団法人日本建築学会が検討した結果、8億円程度で再生可能な方法を提案できました。市民の皆様へその内容を急遽説明する機会を設けることにしました。これからの時代に求められる再生活用により都城の記憶の一つである市民会館を未来へ継承する可能性を、古谷日本建築学会長と委員からご説明致します。

7月14日（土）14:00 - 15:30

都城工業高等専門学校 専攻科研究棟2階 多目的ホール

主催 一般社団法人日本建築学会 都城市民会館再生活用計画検討特別委員会

後援 都城工業高等専門学校建築学科 日本建築家協会九州支部 DOCOMOMO Japan

当日先着順 200名 都城市吉尾町473番地の1 バス51・52番線他 高専前下車
都城ICから国道10号線を都城市街地方面へ約4km

問い合わせ先：都城工業高等専門学校建築学科 林田研究室 0986-47-1239

鹿児島大学工学部建築学科 鯨坂研究室 099-285-8291